

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】



|                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故事例  |
| 2. 体験した事例の名称    | 救助訓練終了後の撤収作業中における訓練塔からの転落事故                       |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 訓練後撤収作業もほぼ終わったことにより、気の緩みからくる集中力・注意力の欠如及び基本的事項の未習熟 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 訓練・経験不足   |

## 【体験した事例の直接的原因について】



|                  |              |
|------------------|--------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。 |
|------------------|--------------|

## 【体験した事例について】



|                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 10 年 1 月 30 日 午前 11 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                         |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：7メートル訓練塔               |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。           |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我                     |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 墜落・転落、                    |
| 7. 事例体験時の活動                      | 演習訓練、 [ 救助（通常時の訓練）、 ]     |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | 高所救助訓練、                   |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                  |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |  |
|----------------------|--|
| ○当事者A                | 年齢[ 23 ]歳、勤続年数[ 4 ]年、現場経験年数[ 4 ]年、階級[ 消防士 ]、同様の活動 [ 頻繁 ]、任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                  |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                  |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |  |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が | なにをした                                     | その他・備考など   |
|------|-------|---|------------|
| 経過1  | 当事者A  | 救助総合訓練を終了し資機材撤収にかかる。                      |            |
| 経過2  | 当事者A  | 撤収作業もほぼ終了する。                              |            |
| 経過3  | 当事者A  | 塔下に降りるため設定されていたロープで座席懸垂降下しようとエイト環に結着する。   |            |
| 経過4  | 当事者A  | 結着後、支持点確認せず降下姿勢をとる。                       |            |
| 経過5  | 当事者A  | ロープ設定がカラビナを介したループ状設定（資機材投下用）のため、そのまま落下する。 | シングルロープに結着 |
| 経過6  | 当事者A  | 腰部及び左下腿を打撲負傷する。                           |            |
| 経過7  |       |   |            |
| 経過8  |       |   |            |
| 経過9  |       |   |            |
| 経過10 |       |   |            |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。指揮者が適切に指示しなかった。後方からの監視の目が行き届いていなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|  |     |
|--|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしななければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。          | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。               | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | はい |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい  |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | はい  |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | はい  |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |  |
|-----|--|
| いいえ |  |
|-----|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

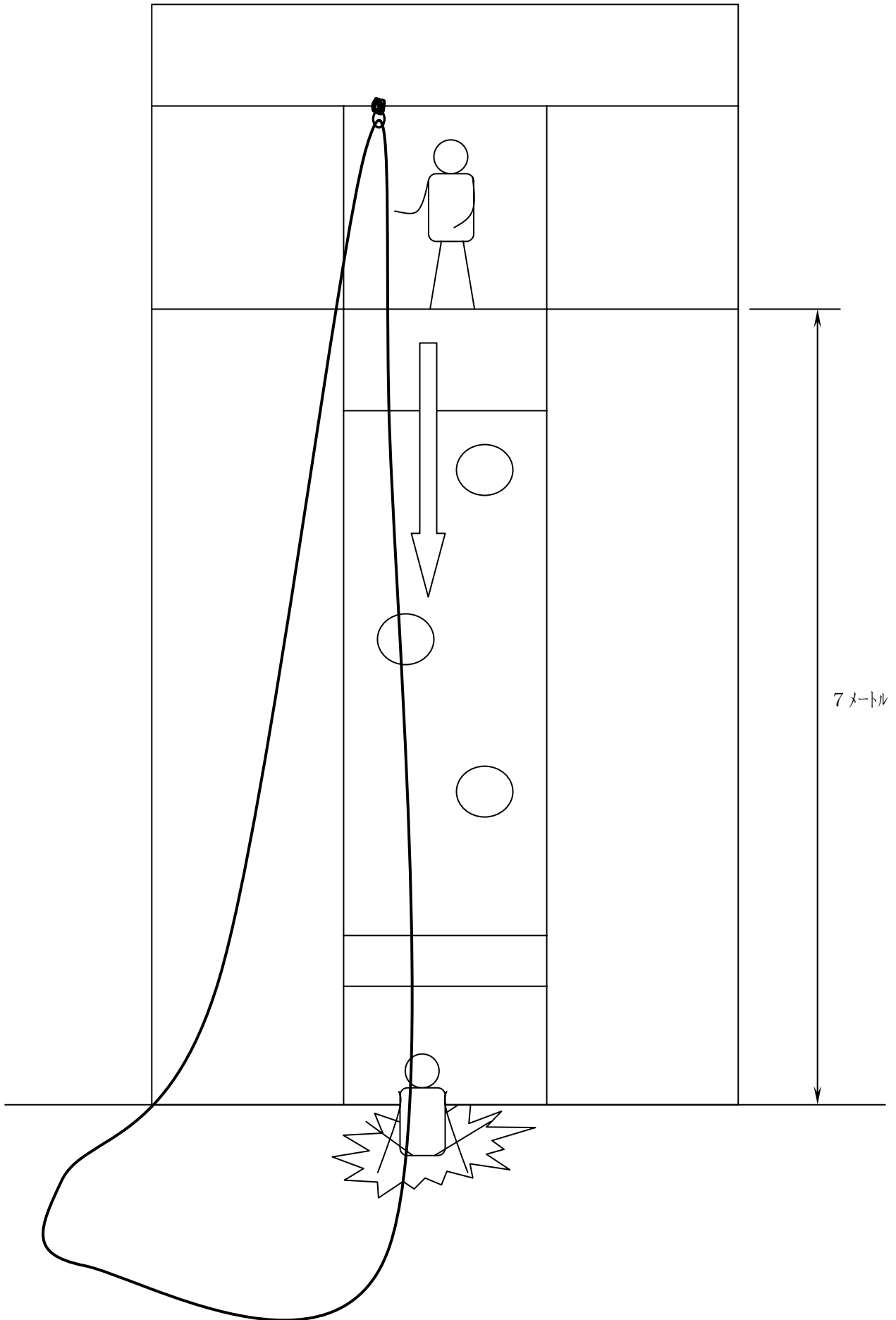
全署員に対し、文書にて再徹底の旨周知し、各部隊ごとのミーティング等をおして、訓練中はもとより、事前設営・撤収作業時等における安全管理意識を高めることに重きをおいて注意を喚起し、活動時は持ち場ごとの安全管理者を配置する等、訓練安全管理計画の見直しに取り組む。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

# 負傷事故概要図



○負傷事故事例：救助訓練終了後の撤収作業中における訓練塔からの転落事故  
 (同様の体験は、初めて体験した。)

(06F0019)

・発生日時：平成10年 1月 午前11時頃

| 経過 | 現場の状況                   | 隊員A<br>隊員／消防士<br>・年齢 23 歳<br>・勤続 4 年<br>・現場 4 年<br>・同様の活動：頻繁   | 備考  |
|----|-------------------------|--|---|
|    | 現場は、7メートル訓練塔上<br>天候は、晴れ | 高所救助訓練（通常時の訓練）を実施した。<br>↓<br>救助総合訓練を終了し資機材撤収にかかる<br>↓<br>撤収作業もほぼ終わった。<br>↓<br>塔下に降りるため設定されていたロープで<br>座席懸垂降下しようとエイト環に結着する。<br>↓<br>結着後、降下姿勢をとる。<br>↓<br>降下した。<br>↓<br>ロープ設定がカラビナを介したループ状設定<br>(資機材投下用)のため、そのまま落下する。<br>↓<br>腰部及び左下腿を打撲負傷する。 | 気の緩みからくる集中<br>力・注意力の欠如<br><br>ロープ設定を確認して<br>ない。基本的事項の未<br>習熟<br><br>支持点確認せず |

◎負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：状況判断に問題があった。
- ・集中力、注意力がなかった。
  - ・指揮者が適切に指示しなかった。
  - ・後方からの監視の目が行き届いていなかった。
  - ・他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

◎負傷事故が起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。
  - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
  - ・活動に対する経験が不足していた。
- (装備・資機材について)
- ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
  - ・必要とする装備・資機材がなかった。
- (指揮・管理について)
- ・指示内容が実施困難であった。
  - ・隊員の連携が不十分だった。

◎負傷事故の対策例

注意欠如、焦り等の対策：全署員に対し、文書にて再徹底の旨周知し、各部隊ごとのミーティング等をとおして、訓練中はもとより、事前設営・撤収作業時等における安全管理意識を高めることに重きをおいて注意を喚起し、活動時は持ち場ごとの安全管理者を配置する等、訓練安全管理計画の見直しに取り組む。